⑧バンコク都　文化・スポーツ・ツーリズム局　政策・企画部

バンコク： 文化的多様性をもつ都市

バンコク文化芸術の主要なコンセプトは：

- 祖国を愛する意識を高める
- タイのアイデンティティと象徴を知る
- 家族と社会をしっかりつなぐものとして まず、家庭から文化芸術に取り組む。
- 文化と芸術はいつも人々の生き方に関係がある。なぜならそれは全ての人がどんな時も触れることのできる生活の一部であるから。

バンコク都の芸術と文化的アトラクションの主要なコンセプト

- バンコク都の様々な芸術と文化は研修センターのような教育的で非営利なものである。
- 主要な特徴は、多目的な施設で、様々な芸術と文化を紹介することである。
- 芸術と文化的アトラクションの潜在的な戦略は、一般市民にとってさらに可視的で、アクセスしやすく、さらに一流で持続可能なものとすることである。

バンコク都の芸術と文化的アトラクションの主要なコンセプト

- 芸術と文化的アトラクションはいろいろな意味で相互的に都市のためになる。
- 芸術と文化的アトラクションによる間接便益は、全ての観光客・お客様にとってユニークな商品として都市の商業的な要素となる。
- 文化的アトラクションは多くの楽しみと価値を提供する。それは、単なる娯楽を超えたものである。
- 芸術と文化的アトラクションは都市観光促進の一部に位置づけられる必要がある。

文化の認知度を高める

芸術・
文化的アトラクション
の促進

Culture, Sports and Tourism Department

文化・スポーツ・ツーリズム局は
バンコク都の
芸術・文化的アトラクションに
直接的に関係する
バンコク都の部局である。

義務と責任

芸術と文化の保存、促進、普及、再生、育成

タイの価値観とアイデンティティへの知識、理解、認識を与える。

市民参加に重点を置いた様々なかたちの観光と芸術・文化的知識の源を発展・促進させる。

義務と責任

音楽、スポーツ、図書館などの活動・サービスを促進・サポートする。

問題を分析し、スポーツ、レクリエーション、芸術、文化を発展させるガイドラインを実行する

芸術・文化アトラクションプログラムが、バンコクを文化都市へと変えた
(文化的多様性)

文化都市

さらに多くの文化的学習資料をつくる

様々な活動を通じてタイ文化を保存・促進していく

文化的ネットワークを促進する

バンコク：文化都市
(多様な文化)
：魅力的な都市
：仏教の都市

主な目的

：タイの何世代にもわたる文化芸術を保存、促進、維持する。
：バンコク都民にタイ文化、価値観、アイデンティティに関する知識を与え、認識を高める。

様々な活動を通じて
タイ文化を保存・促進していく

バンコクの歴史を研究し、
記録に残していく

- 文化専門家や教授が人々にタイ文化やバンコクの歴史について教える。
- バンコクの歴史についての技術ハンドブックを作成する。

国王や王妃の誕生日といった特別な機会には、バンコク都庁、バンコク文化芸術センター、その他様々な場所で、文化芸術展覧会が開催される。

地域文化交流

- 地域そして、国際的な文化交流はタイの4つのエリア(北、南、東、北東)の文化芸術について学び、バンコクの文化芸術との類似点と相違点を比較することを目的にしている。
- 対象となるグループの大部分はバンコクの50地区のカルチュラルカウンシル委員会とその関係者である。

目的：職員のバンコクの文化史についての知識を深め、その知識を守り、維持し、何世代にもわたって継承すること。

タイ東北地域での文化交流事業

タイ中央地域での文化交流事業

タイ北部地域での文化交流事業

タイ南部地域での文化交流事業

国際文化交流

目的

- タイ古典音楽・舞踊を披露する
- タイ文化・芸術を披露する
- タイの観光を促進する

国際文化交流事業

ソウル

国際文化交流事業

ベトナム・ラオス

タイの伝統的な祭り

- 音楽の神々と「先生」を意味するクルと呼ばれるタイ古典舞踊に対し、敬意を表す
- 宗教活動と公園でのダンマ（都市公園における仏教の儀礼）
- ソンクラーンとロイ・クラトン祭り
- 光と音の祭典：音楽とストーリー、国王と王妃の誕生日に光と音の祭典を行う。

音楽の神々とタイ古典舞踊

音楽の神々とタイ古典舞踊

タイ古典舞踊の生徒たちが音楽の神と先生方に挨拶する

宗教活動と公園でのダルマ

仏教徒には、以下の4つの重要な式典がある:

- マカブチャの日 (2月),
- アサハブチャの日 (7月),
- ヴィサカブチャの日 (5月)
- カオパンサの日

朝、人々は徳を積み、説教を聞き、鳥や魚を徳を積むために自由にする。

夜、仏教徒はろうそくを持ち、寺の周りを歩く

公園でのダルマ
(公園で徳を積み、仏教活動を行う)

目的
: 日曜日に公園(バンコクの3つの公園)で行われる宗教行事に家族を招待する
: 宗教行事は下記のことをすることによる積徳からなる

- 僧に食べ物を供える
- ダルマの教えを聞く
- 黙想をする

バンコク都知事が僧に食べ物を供える

仏教の教えを聞く

黙想

ソンクラン祭り
(水掛け祭り)

バンコク都知事とBMAの事務次官が仏像に水をかけている

花のパレード

砂の彫刻

僧や年配者から祝福を受けるために水をかける

おもしろがって水をかけあう

ロイクラトンの祭り

陰暦12月の満月の夜に行われる祭り。

ロイは浮遊物、クラトンはバナナの葉、花、ろうそく、お香で飾った丸い浮遊物を意味する。

ロイクラトンの祭り

人々は自分のクラトンを川に浮かべる

バンコクに下記のような文化研修センターをさらに建設する。

- *地域文化博物館*
- *こども発見博物館*
- *バンコク芸術文化センター*

地域文化博物館

目的:

- 人々を動員し、協力、参加させることにより地域レベルでさらに多くの芸術・文化学習情報を創出する。
- コミュニティーに維持されてきた地元の人々の地域文化、伝統、基本的なしくみづくりを促進する。
- コミュニティーの市民は自分たちの地域文化を学び、それにより多くの注意を払い、維持していく意識を高めることができる。

地域文化博物館

バンコク都には都内の50地区を網羅する地域博物館を建設する政策がある。

現在、バンコクには27の地域博物館がある。

どの地域博物館も独自の文化、伝統、生活様式を展示している。

運営は地域委員会によってなされ、運営予算はバンコク都から支援されている。

地域文化博物館

クロンサーン地区

トンブリ地区

こども発見博物館

バンコクのこども発見博物館は実践的な学習方法を奨励している。体験型展示をすることで、こどもたちが受け身的な(そして退屈した)観客となるのではなく、体験の世界に入り、学習のプロセスに参加する「発見型学習プロセス」を促している。好奇心旺盛なこどもたちが自分たちで物事を理解するのにふさわしい場所となっている。

activities inside building

バンコク芸術文化センター

BANGKOK ART AND CULTURE CENTRE

バンコク芸術文化センター（BACC）は街の中心にある現代美術のための施設である。美術、音楽、舞台、映画、デザイン、文化的・教育的イベントのプログラムが気さくで楽しい雰囲気のなか行われる。この施設には、レストラン、本屋、アートライブラリーがある。

バンコク芸術文化センター

BACCの目的：

- 芸術家が集う場所を創出し、コミュニティーに過去から現代の文化連続性に重点をおいた文化的なプログラムを提供する。
- 文化的対話やネットワークの新しい境地を開き、官民それぞれから新しい文化財を創出する。
- コンテンツ、学芸的、文化的管理の観点から文化交流の場を設け、バンコクを国際的なアートシーンにおける営業基盤にする

バンコク芸術文化センター

BACCはバンコク都によって設立されたバンコク芸術文化センター基金の監督下にある。

バンコク芸術文化センター

建物は11階建てで25,000平方メートルの広さをもち、機能は以下の通りである：

9階　ギャラリー、美術展：絵画、インスタレーション
8階　ギャラリー、美術展：半永久的な収集、特別展
7階　ギャラリー、マルチメディア展、写真、デザイン
6階　レストラン（2008年12月）

バンコク芸術文化センター

5階　ギャラリーロビー、ホール：映画、演奏会、ドラマ、屋外彫刻、会議室、こどもの作業場
4階　スタジオ、パフォーマンスアートドラマ、ダンス、アートワークショップ。店舗・レストラン、会議室
3階　店舗・レストラン（2008年12月）高架鉄道（ Bangkok Transit System ）接続
2階　店舗・レストラン（2008年12月）
1階　メインロビー、店舗・レストラン（2008年12月）
B1階　図書館、オープン展示エリア
B2階、B3階 駐車場

バンコク芸術文化センター

バンコク芸術文化センター

バンコク芸術文化センター

芸術文化図書館と店舗

バンコク芸術文化センター

バンコク芸術文化センター

グランドオープニング式典は2009年8月19日に王妃主催で開催された。

バンコク芸術文化センター

Some Examples of Art and Cultural Activities

シリンドン王女による写真展

サイアムスマイル
シティ

アートキャンプ事業

アーティストマーケット

映画上映

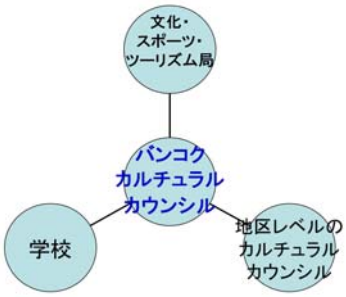
現在!

Inauguration Exhibitions
"Virtues of the Kingdom"
in Honour of His Majesty the King and Her Majesty the Queen
on the occasion of the Official Opening of the Bangkok Art and Culture Centre
August 11- October 11, 2009

国王の肖像画の展示：図像技術における分野においては、プーミポンアドゥンラヤデート 国王の肖像に関する調査が進んでおり、それはタイの社会史、美術史における作品を考察する貴重な機会となっている。展示されている作品群には、それぞれの画家の国王の博愛心に対する印象が表われており、その多様さから、私たちは美というものの幅広さ、そして解釈の大切さを見て取ることができる。

2007年に上演され、2009年に再演されたKhon Prommasの勅命公演での衣装、頭飾り、マスク、小道具、セットの展示。写真、エラワン象のdrawiの彫刻の実物大模型スタジオの展示もある。

1960年以降の国王とシリキット王妃のもとでのタイ王国と他国との密接な関係を表す展示



CONCLUSION

おわりに：バンコクは様々な現代化と発展の中心となっているが、独自のタイ文化を維持している。それらは、めったに見つからないが、高く評価されている。それらは：

：ワイ、胸の位置で両手を合わせ、軽くお辞儀をすることにより、敬意を表す方法

：微笑み
：タイの人々の観光客に対するおもてなしと親切。それによって、観光客は温かい気持ちになり、うれしくなる。

これらは、全く投資を必要としない私たちの主な文化的アトラクションである。
タイの人々はこれらの習慣や行動を家族、学校、社会から学び身につけてきた。これらが私たちのタイ文化の象徴、そしてアイデンティティーである。
バンコク都知事のもとでのバンコクの政策は、「バンコクスマイル」と呼ばれ、それは公布され、実行されている。

Bangkok Smiles

Bangkok Smiles

Through

夜の観光
ショッピング
タイ文化＆祭り
川
食事

ご静聴ありがとうございました。